

令和3年度第3回 長野市総合計画審議会 会議録

日 時：令和3年8月12日（木） 午後3時から午後4時まで

場 所：講堂（第二庁舎10階）

出席者：委 員/ 荒井委員（リモート出席）、池尻委員、市村委員、伊藤委員、大日方委員、
萱津委員、金物委員、川北委員、熊井委員、黒岩委員、小木曾委員、轟委員、
廣田委員、藤原委員、梅干野委員、牧野委員、宮沢委員、横地委員
（欠席 青柳委員、清水委員）

長野市/ 池田総務部長、西澤企画政策部長、清水財政部長、宮岡地域・市民生活部長、
中澤保健福祉部長、小林保健所長、日台こども未来部長、伊熊環境部長、
下平商工観光部長、小林文化スポーツ振興部長、櫻井農林部長、小林建設部長、
岩片都市整備部長、西山会計局長、藤澤教育次長副任、勝野教育次長（教育）、
町田上下水道局長、小田切消防局参事、宮尾議会事務局
長、村上危機管理防災監

事務局/（企画課）青木次長、稲垣主幹、市村課長補佐、東福寺係長、上原係長、
室田主査、平井主査、板倉主査、横田主事、名取主事
（人口増推進課）依田課長、宮下課長補佐、飛澤主査

1 開会

（事務局）

定刻となりましたので、これから長野市総合計画審議会を開会いたします。

私は、企画課課長補佐の市村と申します。よろしくお願ひいたします。着座で失礼いたします。本来ですと関係部局長が、こちらの会場に出席するところではございますが、新型コロナウイルス感染症予防のため、各職場の自席からリモートで出席させていただきます。

本日の資料の御確認をお願いいたします。事前にお送りいたしました、次第と資料1、資料2、資料3、資料4-1、4-2、資料5、資料6に加えまして、本日、机の上に置かせていただきました、後期基本計画 施策の図表一覧、長野市国土強靱化地域計画について、座席表、審議会委員名簿及び長野市部局長名簿をお配りしてあります。大変資料が多くて申し訳ございませんが、不足等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

また、不足等ございましたら事務局までお申し出ください。

なお、本日は、青柳委員と清水委員から、欠席のご連絡をいただいております。また、荒井委員におかれましては、リモートにより御出席いただいております。

それでは金物会長から、ごあいさつをお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

2 会長あいさつ

(金物会長)

本日は、本年度第3回目の会議ということで、お盆前のお忙しい時期にお集まりいただき、ありがとうございます。

今日は多少涼しくはなりましたが連日の猛暑となっておりますが、体調管理には十分お気を付けいただき、特に脱水についてはマスクをしていると危険性も増しますので、こまめに水分補給を心掛けていただければと思います。

先週末に閉会した東京オリンピックはコロナ禍のもと、どうにか開催にこぎつけ、日本の選手は大活躍し、多くのメダルを獲得しましたが、無観客で行われたこともあり、盛り上がりはいま一步であったように思われます。ただ、コロナ禍で明るい話題がない中で、選手の活躍や頑張っている姿を見て、元気をもらえたのではないかと思います。

新型コロナウイルスの関係では、全国的なデルタ株の蔓延により、年末年始の第三波を超える患者数が出ている状況であります。明日からお盆に入りますが、県外からの帰省や観光客などで、人の往来が多くなりますと、感染は拡大しますので、皆様もお気を付けていただきたいと思います。

本日の会議の予定としましては、議事としまして、「第五次総合計画後期基本計画(案)」の他に、人口ビジョンの改訂、後期基本計画策定スケジュールの変更、前期基本計画の進捗状況、アンケート指標の結果、ながの未来カフェの結果と、盛り沢山な内容となっております。

なお、スケジュールでは、来月9月の審議会が今年度最後となり、審議会後に答申を行う予定になっておりましたが、スケジュールの変更がございます。変更の詳細について、後ほど事務局から説明がございますので、よろしく願いいたします。

後期基本計画はほぼ形ができあがり、大詰めを迎えておりますので、委員の皆様のお忌憚のない御意見をいただきますようお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

3 議事

(事務局)

ありがとうございました。それでは、議事に移らせていただきます。議長につきましては、長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例第6条第1項に基づき、金物会長にお願いいたします。

なお、終了時刻ですが、午後5時までに終了したいと考えておりますので、御協力よろしくお願いいたします。

また、議事において、委員の皆様が発言される場合は、お手数ですが、挙手していただき、議長から指名されましたら、事務局職員がマイクをお持ちいたしますので、お座りになったまま発言をお願いいたします。

それでは、会長よろしくお願ひいたします。

(金物会長)

それでは、議事に入る前に、前回の審議会で轟委員から質問のあった、「国土強靱化地域計画と総合計画の関係について」事務局から改めて説明したいとの申し出がありましたので、始めに御説明をお願いします。

－国土強靱化地域計画について説明－

村上危機管理防災監より、当日配布資料「長野市国土強靱化地域計画について」に基づき、「国土強靱化地域計画と総合計画の関係について」説明

(金物会長)

轟委員よろしいでしょうか。

(轟委員)

はい。

(金物会長)

それでは、議事に入ります。

次第3 議事の(1)「人口ビジョンの改訂について」、事務局から説明をお願いします。

－事務局説明－

依田課長より、資料1に基づき「人口ビジョンの改訂について」説明

(金物会長)

「人口ビジョンの改訂について」について、説明がございました。御意見、御質問があればお願いします。

(金物会長)

特にございませんか。荒井委員さんもよろしいでしょうか。

(荒井委員)

はい。今のところ問題ございません。ありがとうございます。

(金物会長)

それでは、「人口ビジョンの改訂について」は、今回の説明内容に従い、改訂版の作成作

業を進め、次回の総合計画審議会で改訂版が配布されるとのことですので、よろしくお願いいたします。

続いて次第3 議事の(2)「第五次総合計画後期基本計画の策定スケジュールの変更について」事務局から説明をお願いします。

—事務局説明—

青木次長より、資料2に基づき「第五次総合計画後期基本計画の策定スケジュールの変更について」説明

(金物会長)

ただいま「第五次総合計画後期基本計画の策定スケジュールの変更について」説明がございました。御意見、御質問があればお願いいたします(特に意見なし)。

特に意見がございませんので、それでは「第五次総合計画後期基本計画の策定スケジュールの変更について」は(案)のとおりとします。9月24日は正副会長のみの出席により中間答申を行い、次回の審議会は先になります。来年1月28日に答申(案)を審議するというので、よろしくお願いいたします。

続いて次第3 議事の(3)「第五次総合計画後期基本計画(案)について」事務局から説明をお願いします。

—事務局説明—

青木次長より、資料3に基づき「第五次総合計画後期基本計画(案)について」説明

(金物会長)

ありがとうございます。「第五次総合計画後期基本計画(案)について」説明がございました。御意見、御質問があればお願いします。

(横地委員)

意見、質問ではないのですが、116ページの単純なミスだと思いますが、「コンパクトなまち「ながの」」の「の」が抜けていると思いますので、入れていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

(青木次長)

大変失礼いたしました。修正させていただきます。

(金物会長)

他にございませんか。

(川北委員)

質問ですが、全部じっくり見られていないので、既に話題になっているか結論が出ているのかもしれませんが、たまたま先ほどご紹介いただいた下線で追記した部分の質問で、72 ページ観光の話で主な取組の「観光産業が持続的に発展できる仕組みづくりを推進します」を追加しますとありましたが、よく考えるとどういうことなのかな。どういうことをイメージして文言化したのか。仕組みを作りたいという意見はわかるのですが、実際考えるとどういうことなのかわからなかったの、教えてもらいたい。

79 ページの主な取組の「多様な人材や、デジタル技術の活用などによる経営力強化を支援します」とあるが、デジタル技術を活用していくという話は、行政やまちづくり全体で求められていることであり、この審議会の中でもDXを進めていくという計画や国全体で進めていくという旗振りがあったので、やるのは当たり前の世の中なので、ここはどうやって整合性を取ったらいいのか。

81 ページの主な取組のスタートアップの話で「支援等の環境を整備」ということは現状、環境が整っていないとか、未熟という現状認識なのか。既に色々なことをやっているのではないかと思ったので、整備するのではなく課題は実は違うところにあるのではないかと思ったところです。

SDGsに取り組んでいくということで関連表があり、ここに該当するとありますが、個々のレベルの話なのか、行政評価での話なのか分からないが、総合計画を進めるとSDGsにこれだけ近づきましたよと、他のものはKPIとか示していて、(目標に対して) いったかいかかわかるようにしていますが、SDGsのことはどれだけ総合計画として、真面目に考えていったらいいのか、達成のことをどれだけ考えたらいいのか、わからなかったの、何かアイデアがあればお願いします。

(金物会長)

川北委員の質問は、72 ページ、79 ページ、81 ページに限らずということなのですかね。そういうことなのですかね。具体的にはいま言った3箇所御説明いただきましたけれども事務局どうでしょうか。

(青木次長)

始めにSDGsの達成が総合計画を実行することにより、どの程度達成できるか測る指標ということによろしいでしょうか。実際に総合計画の各主な取組を実行することによりまして、なかなかSDGsという大きな目標を達成したということは難しいところではありますが、それぞれの向かっているゴールに対しまして、それぞれの指標、総合計画で定めている指標を達成したことによって、数字では表わせないのですけれども、SDGsのゴールに近づいたのではないかと考えております。

それでは、産業部分の修正について、下平部長よろしければお願いします。

(下平商工観光部長)

最初に 72 ページの持続的な観光のところですが、今まで長野市の観光は、特に善光寺中心に団体旅行が多かった。このままで続いていくことはできませんので、個人を始め若い方を含めて観光誘客をしていかなければいけない。そのためのコンテンツを作っていくということです。

また、観光の中でも今後SDGsの達成にも携わっていかなければいけない。ホテルですとか旅館ですとかを含めて、いかに環境面に配慮していくか、もしくは地産地消のような地域の物産を使っていくかということもございますので、そういったところも含めて「持続的に発展できる仕組みづくり」を入れたものであります。今年度、観光のほうでも、五箇年の観光計画を作りますので、具体的な検討はしてまいりたいと思っております。

次に、79 ページのデジタル化ですが、「多様な人材や、デジタル技術」について、これは当たり前のことではないかということですが、長野市でもスタートアップ、スマートシティの取組が始まっております。DXと盛んに言われてはおりますが、なかなかまだ一般企業の中で、特に中小企業の中では、これからという企業が多い。こういったところを支援、強化しながら、長野市の活気ある経営力の強化を支援していきたいと考えております。

81 ページのスタートアップの支援の関係ですが、これは整っていないのかということですが、スタートアップにつきましては、令和2年度から具体的に始めたばかりでございます、緒に就いたばかりということでございます。そういった中で、サテライトオフィスやコワーキングスペースの整備の支援、スタートアップをしようとしている方に対する伴走支援の場づくりを盛んに取り組んでいるところでございまして、更に伸ばしていかなければならない。さらにその先には、金融を含めて色々な産業界の力を借りて、スタートアップを伸ばしていくというエコシステムと言っておりますが、どんどんそういった環境が作られていくことが理想ですので、そのへんを上手く支援、調整していきたいということで、書かせていただいております。

(金物会長)

ありがとうございます。川北委員さんよろしでしょうか。(川北委員から) オッケーが出ました。他にありますか。

(大日方委員)

質問と言いますか、意見として4箇所言わせてください。72 ページ、73 ページのながの未来カフェの意見を参考にとということで、体験型観光という直接的なキーワードを踏まえて、直しましたということで御説明いただきましたが、体験型観光という直接的な言葉が入っていないので、主な取組として入れてしまってもいいのではないかと思います。

次に 74 ページ、主な取組について、これも未来カフェで若い人に興味のあるものを取り入れてほしいということで、若い人に興味のある「コンサート」を記載しましたということ

で、若い人に興味のあるイコール「コンサート」というのが、ちょっと意見が薄まってしまったのかなと思いました。

未来カフェで「テレワーク」とか「2拠点居住」について、そういったキーワードが出ていたのですが、82 ページの主な取組の「テレワークをはじめとした多様な働き方」だとちょっと意見が薄まってしまって、直接的な言葉で「テレワークや2拠点居住など」みたいなできるだけいただいた意見を直接的な言葉で入れた方が、主な取組として実際やっていただける方にわかりやすいのかなと個人的には思いました。

(金物会長)

ありがとうございます。事務局どうですか。

(青木次長)

これにつきましても下平部長、何かございましたらお願いいたします。

(下平商工観光部長)

73 ページのところ、体験型観光が具体的に入っていないではないかということですが、これも今年策定していく観光振興計画の中で、具体的にどんなことができるのか考えていきたいと思っておりますので、それも踏まえて検討していきたいと思っております。

74 ページの「若い人の興味のあるものがコンサート」ということで、ちょっと薄まっているのではないかということですが、一つとしまして、長野市のコンベンションの特徴は、会議に限らずスポーツ、特にオリンピック施設など、そういったものが多くありますので、スポーツ、芸術、コンサートは他の地方都市に比べ、大規模なものが開催されていると、これは長野市のひとつの特徴でもございますので、今後も継続していかなければならない、それによって長野市民以外にも県外からもたくさん人が来ますので、ここは若い人に限らずということですが、そういった面の特徴を出すということで、あえて「コンサート」という言葉で書かせていただいております。

82 ページにつきましては、確かに多様な働き方ができるということではありますが、一応長野市民を対象に2拠点居住までは入れずに、テレワークを入れさせていただいております。いただいた御意見を検討させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(金物会長)

よろしいですか。(大日方委員了解)

他にございますか。

(轟委員)

13 ページの前回の会議時もお話しさせていただきましたが、指標が偏っているという話

の中で、今回、各施策の項目がレベルアップしていくことが、評価に繋がるという評価の仕方に変更していただいたのかなと思いますが、唐突に13ページのところで、アンケート指標とか、統計指標という言葉が出てきていて、その後ろのカッコのところで全93指標とか、全66指標というのも、ちょっと唐突感があります。恐らくこの93指標というのは、それぞれのアンケート指標を合算したものかと思いますが、この指標を説明する文章があるのかなと思いますので、御検討をいただければと思います。

(青木次長)

アンケート指標の説明が出る前にアンケート指標、統計指標の言葉が出てくるということと、全93指標が何なのか説明がないということですので、これにつきまして、見た方に分かりやすいように説明を加えさせていただきたいと思います。

(金物会長)

他にございますか。

(藤原委員)

いまの所に被ることなのですけれども、全く轟委員と同じことを感じていて、これを補足しようとするのかなりの情報ボリュームになるなど感じていて、果たして、これを本当に入れる必要性がどこまで各テーマに対してあるのか疑問に感じた。ここはどうしても指標名をテーマごとに入れていく必要性とか必然性について、事務局としてどう考えているのか。この後、各アンケート指標が出てくると思いますが、総合戦略とどう紐づいているのか書く形でもいいのではないかと。何かここに入れた背景をお伺いしたい。

(青木次長)

元々総合戦略の中で指標を設けていたものでございます。分野横断テーマ「まち・ひと・しごと」ごとにそれぞれ指標を設けて、どの程度進んだか測るために、後ろの方ですと55施策それぞればらばらになってしまいますので、それぞれをテーマごとに括った単位で、どの程度進んだのかを測るために、アンケート指標、統計指標の達成した数をここで指標として表示させていただきました。

(藤原委員)

冒頭なので、アンケート指標、統計指標のボリュームが多いと、総合戦略の理解も含めて割とここに情報が割かれていないので、そんなにボリュームが多くない方が、その後も色々な話が出てきますので、読みやすいのかと思いますので、工夫していただければと思います。

(青木次長)

わかりました。

(梅干野委員)

前回の審議会の際に、10～12 ページに掲載されている「計画全体に共通する取組」を 16～17 ページに入れた方がわかりやすいのではないかとコメントさせていただいた記憶があるのですが、この件について御検討いただけたかどうか御回答をお願いいたします。仮に御検討いただいて、16～17 ページに入れるのが難しいそうだとすることであれば、論理的に矛盾が生じてしまっているのかなという気がいたします。

(青木次長)

計画全体に共通する取組と各施策と分野横断テーマの関係について御質問いただいたと思いますが、55 の施策を実行する上で一番根底に流れているもので、18 ページの図で表させていただいたところでございます。各テーマの施策のベースの所に SDG s、台風災害からの復興、Society5.0 という形で、16～17 ページの施策の体系に表しきれなかったので、18 ページのポンチ絵でお示しさせていただきました。

(梅干野委員)

わかりました。ありがとうございます。ちょうど折りこみで中のほうに収まっていて見えなかったので、16～17 ページに入れ込むことはなかなか難しいということなのですね。先ほどから SDG s のことが出てきている中で、なかなか 16～17 ページにキーワードが出てきていないのはどうなのかなと思います。

(青木次長)

ちょっと検討させていただきますけれども、16～17 ページは情報量が非常に多いものですので、あえてわかりやすい図に掲載させていただきました。もし、表示できるようであれば、掲載させていただきたいと思います。

(金物会長)

他にございますか。6名の委員さんから御意見・御質問がございましたが、荒井委員さん何かございますでしょうか。

(荒井委員)

現時点では特段ありません。ありがとうございます。

(金物会長)

それでは、「第五次長野市総合計画後期基本計画（案）」については、委員さんから御意見がありましたので、事務局で検討・修正の上、修正したものを委員の皆様にお送りしますので、御確認をいただいて、それを中間答申とさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。よろしいでしょうか。（一同異議なし）

事務局よろしいでしょうか。

(青木次長)

お願いたします。

(金物会長)

それでは先に進めさせていただきます。次第3 議事の(4)「第五次総合計画前期基本計画の進捗状況について」事務局から説明をお願いします。

—事務局説明—

青木次長より、資料4-1、4-2に基づき「第五次総合計画前期基本計画の進捗状況について」説明

(金物会長)

ただいま「第五次総合計画前期基本計画の進捗状況について」の御説明がございました。昨年度は、第五次総合計画の4年目でありましたが、御意見、御質問があればお願いたします。

(藤原委員)

一点だけ意見になるのですが、今、下落している指標の話をお伺いしながら、やはりコロナウイルスの影響は非常に大きいということを改めて認識するとともに、アフターコロナの話がいつこのタイミングでどうやって来るのかということがなかなか読めないと思っておりますので、ぜひ新しい指標や、今回のコロナを受けて、コロナが明けたら指標が回復するという考え方よりは、今後コロナの影響が続いた中でも将来的な目標の達成に向けてどうやっていくのかという指標なども、ぜひ次年度なども含めて御検討いただけたらと思っております。よろしくお願いたします。

(金物会長)

藤原委員からの提案ですが、よろしくお願いたします。他にございますでしょうか。

第五次総合計画の進捗状況については、後期基本計画においても引き続き行っていきますので、来年度以降も進捗状況の御確認をお願いたします。

協議事項は以上になります。続いて次第 4 「報告事項」の(1)「第五次総合計画アンケート指標の令和3年度実績値について」事務局から御説明をお願いします。

—事務局説明—

青木次長より、資料5に基づき「第五次総合計画アンケート指標の令和3年度実績値について」説明

(金物会長)

ただいま「第五次総合計画アンケート指標の令和3年度実績値について」説明がございました。御意見、御質問があればお願いいたします。

特にございませんか。それでは「第五次総合計画アンケート指標の令和3年度実績値について」は前期基本計画の最終実績値となります。後期基本計画の推進に活かしていくために、各担当課で結果を分析し、来年7月作成予定の「前期基本計画の進捗状況」に分析結果を記載していただくということですので、よろしくをお願いいたします。

続いて、次第4 報告事項の(2)「ながの未来カフェの結果について」事務局から説明をお願いいたします。

—事務局説明—

青木次長より、資料6に基づき「ながの未来カフェの結果について」説明

(金物会長)

ただいま「ながの未来カフェの結果について」御説明がありました。御意見とか御質問があればお願いいたします。

(轟委員)

参加された方へのフィードバックについて、これも御確認いただく形になるのでしょうか。

(青木次長)

この一覧表をホームページに掲載させていただきまして、参加された皆様にはそのホームページを御覧いただく御案内を出させていただくことを考えております。

(轟委員)

ありがとうございます。意見の対応のところ、分野横断テーマ②とか色々記載がある中で、いったいこれがどこののか、恐らくこれを読んだだけではイメージがつかないと思いますので、そのあたりを丁寧に御説明する仕組みとか方法を御検討いただけるといい

のかなと思いました。

(青木次長)

ありがとうございます。ホームページに掲載する際に工夫をさせていただきたいと思えます。

(轟委員)

よろしく願いいたします。

(金物会長)

他にございますか。それでは、「ながの未来カフェ」の結果については、各担当課の今後の取組の参考としていただき、今の御意見も取り入れていただくということで、よろしく願いいたします。

予定しておりました会議事項は、報告事項も含めまして以上となりますが、委員の皆様から全体を通じて何か御意見・御質問などございますでしょうか。

(轟委員)

先ほど御説明いただいた資料1のところですが、教えていただきたいところがございますので、御質問させていただきます。

出生率のところの御説明で、人口30万人を目指す上で、今回出生率の数字を若干甘めにしたよ、といった御説明をいただいたかと思いますが、そのところで長野県が出している「しあわせ信州創造プラン」では、2022年までに1.76を目指しましょう、ということが定義されていて、一方で長野市は改定後では2025年に1.65と、長野県が目指している出生率と長野市が目指す出生率の目標値についてズレがありますが、整合をとらなくてもいいのか。長野市ではこれでいくというお考えなのか教えていただければと思います。

(依田課長)

長野市が今回設定させていただいた2025年に1.65という数字ですが、こちらについては先ほど申し上げましたけれども、「長野市子ども・子育て支援事業計画」と整合を取っております。その計画が県の計画と整合が取れていなくてもよろしいのでしょうかというお話だと思われませんが、県の計画につきましても県の次世代サポート課に伺ったところ県民希望出生率(2025年に1.84)から逆算して目標値を出しているとのことでしたが、県民希望出生率について、長野市の総合計画に当たる計画(「しあわせ信州創造プラン」)を更新する際に見直すかどうかは決定していないことを聞いております。そういった中で現状を踏まえ長野市独自の数字を設定させていただいているところでございます。

(轟委員)

長野県が設定している目標値が高めなので、長野市は何でこんなことになっているのといった御指摘を受けたと時に、しっかりと回答ができればいいのかなと思いますので、よろしく願いいたします。

(金物会長)

よろしいですかね。ただいま議事の(1)「人口ビジョンの改訂について」御質問でしたが、他に全体に関わることで何かございますか。

(藤原委員)

全体のことといたしますか、未来カフェのことですが、これはすぐに意見を反映してくださいということではなくて、次の未来カフェをもしやるとすればフィードバックになるのですけれども、未来カフェの位置付けが不明瞭だなと感じていて、もしこれが質的に先ほどの意見のとおり、総合計画に反映されるという話であれば、人選をしっかりと丁寧にやらないと、その意見が市民の意見であるということは、かなり強引であるなと思っております。

かつ、当日の議論の進め方としても、今の長野に感じている観光の課題となると、かなり抽象的になる。これって本当に意見集約する意味があるのか。もしこのように関係課にフィードバックするのであるならば、もう少し課題をシャープにする必要があると感じております。ですので、正直今回すごく色々な意見が出ることはいいことだと思いますが、本当にこのプロセスが必要なのか、是非次回検討いただければいいなと思いますし、今回来ていただいた方の御意見が本当に市の施策に反映しているということであれば、もっと別の機会であるとか、総合計画の施策に繋がっていくようなことがないと、言った人達も何でこれを言ったのだらうとなるなと思いますので、5年に1回の話になってしまうかもしれませんが、むしろこれがあるのが当たり前よりは、本当にこれがプロセスとしてどういう意味合いなのか必要性があるのかというところは、しっかりと考えるべきなのかなと感じております。

(青木次長)

市民の皆様の御意見の聴取の一環として、今回開催させていただきましたが、あくまでもいただいた御意見はそのまま反映するのではなくて、担当課において精査をした上で、反映すべきものは反映させていただいたところがございます。いただいた御意見を参考に次回の未来カフェ、恐らく5年後になると思われますが、また参考にさせていただきたいと思っております。

(梅干野委員)

私も同じことを感じておりまして、どう表現したらよいか微妙なところではあるので、

先ほどは黙っておりましたが、実際に未来カフェの意見への対応のところ、分野横断テーマの何々に何々を入れましたというような表現が結構出てきますけれども、これは本当に未来カフェの意見を基に横断テーマの言葉に加わっているのか。それとも予めこれを加えようと長野市の意向があつて、ちょうどそれに対応した意見が出てきたので、入れているのか。そのあたりが非常に不明瞭で、いただいた意見に対して対応しているものしていないものが、かなり恣意的にあるように見えてしまうのです。もちろんこれに参加している立場や現在の身分も関係していると思っておりますが、今後こういった意見聴取の機会をどのように運営するのかは、慎重にお考えになっていただいて、特にそこから出てきたい意見を市の施策にどのように反映させていくのがいいのかを含めて、御検討いただければいいのかなと思います。

(青木次長)

まず、分野横断テーマの2、テーマ実現のための視点を作ったのか言いますと、実際にはそうではなくてですね、未来カフェの御意見も参考にさせていただいたということが正解であると思います。いただいた御意見を参考に次回の未来カフェをしっかりと組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(金物会長)

未来カフェの位置付けについて、それぞれ御意見が出まして、私もそのとおりと思います。次回以降に活かしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。他にございますか。

(萱津委員)

未来カフェですが、私も訳が分からなくて、どんな人がどんなことを言うのかなと、軽い感じで拝聴させていただきました。でも女性達から子育てに対して活発な意見は出ていましたが、どうしてこういう人達が人選されたのか、そういうことが私には全くわからなくて、これはどこからどのように入って来たのか。例えばここに書いてあることは、すごくいいことも書いてあります。でも他の一般の人が見た時に「え、何で」とならないように、次回5年後に未来カフェの人選をされる場合は、もっと慎重に色々な人の意見を聞きながら進めいただければいいのかなと、帰りながら思いましたので、一言述べさせていただきました。

(青木次長)

未来カフェを始める時にどういった方が選ばれたのか、御説明がなく申し訳ございませんでした。人選につきましては公募という形でさせていただきました。手を挙げていただいた方に御参加いただいたということでございます。また次回以降、本日いくつか御意見を頂戴いたしましたので、参考にさせていただきながら、より市民の皆様の意見を聴取できる方

法を考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(金物会長)

特に他に御意見がないようであれば、会議を閉じさせていただきますので、事務局にお返しいたしますので、よろしくお願いいたします。

(事務局)

会長ありがとうございました。最後に次第 5 「次回以降の予定」について、御説明申し上げます。

議事のところで御説明させていただいたとおり、予定しておりました9月24日の第4回審議会は、1月28日(金)へ変更させていただき、答申(案)について御審議いただきます。時間と場所は、記載のとおり午後3時から講堂で開催します。先の予定になりますので、開催日が近づきましたら改めて御通知させていただきますが、御予定をお願いいたします。

また、現在、「長野市まち・ひと・しごと 創生総合戦略」の令和2年度の進捗状況の取りまとめ作業を行っております。9月中を目途に書面で御確認いただきたいと思っておりますので、こちらも併せてよろしくお願いいたします。日程等については以上となりますが、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは以上を持ちまして、総合計画審議会を閉会といたします。長時間の御審議、誠にありがとうございました。

駐車券の2時間無料の認証がお済みでない方は、事務局までお申し出ください。よろしくお願いいたします。